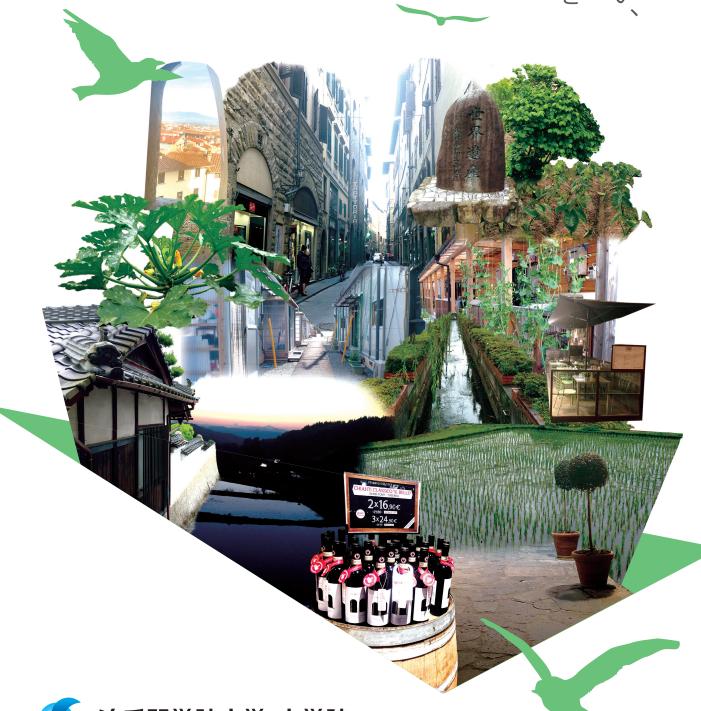
現代社会文化研究科 現代社会学専攻(修士課程)

地域創造

創造する

持続的な社会を 地 域に寄り添い



() 追手門学院大学 大学院



人口減少・超高齢化、地域間格差が進展するなか、どのような地域社会 の構築をめざすのか。地域創造コースでは、都市・地域計画学、住居学、観 光学といった学際的な観点から、地域文化資源の理解、コミュニティ再生、 観光まちづくりといった実践型の研究を通して、現代社会の根源的課題に 取り組みます。地域に潜在する資源・価値を再発見し、持続的な地域社会 を創造するための思想と技術、その基盤となる「知」を探究します。

______ 大学院 現代社会文化研究科

現代社会学専攻(修士課程)

- ・現代社会コース
- ・スポーツ文化学コース
 - 〈地域政策領域〉 - 〈観光領域〉
- ・地域創造コース - 〈計画・デザイン領域〉

国際教養学専攻(修士課程)

- 国際コミュニケーションコース
- ・国際日本学コース

地域創造コース

講義一覧 (2025年度)

■ 全研究科共通科目

- · Academic English 特論
- 現代社会学専攻共通科目
 - · 現代社会学総論 社会調査法演習
- 地域創造コース専攻科目
 - 地域政策特論 • 観光産業研究 • 都市計画研究
 - 都市政策特論
 - 住宅政策特論
- 観光政策特論
- 観光資源研究 ・観光行動研究
- ・地域コミュニティ研究 ・地域デザイン研究

• 生活空間研究

• 地域創造事例研究

- · 地域文化継承研究
- 文化資源活用研究
- ·居住環境研究
- · 災害復興研究 • 地域創造学文献研究
- ■研究指導科目 ·研究演習 | ~ |V
- ・修士論文

計画・デザイン領域

一人ひとりの尊厳を保障する 生活空間を創造する

災害、貧困、紛争、疫病など厳しいリスクに向き合いながら、 安定した居住をいかにデザインできるか。国内外のフィールド に繰り返し足を運び、そこに住まう人々の多様な声を通して公 正な社会と空間のあり方を探究します。





災害復興過程における居住地再生の課題 田中 正人 教授

災害は、多かれ少なかれその土地の人びとの生活をゆさぶる。ダ メージは経済的、社会的、身体的に脆弱な人ほど深刻である。いかに 彼らの居住の安定を確保すべきか。そしてまた、災害リスクはいかに分 配をされるべきか。阪神・淡路大震災、東日本大震災、福島第1原発事 故災害をはじめ、甚大な被害がもたらされた国内外の被災地を対象 に、当事者一人ひとりとの対話を通して、生活変容を長期に追う実証 的研究を実践している。





住宅とケアの一体的供給の可能性 葛西 リサ 教授

住宅問題は、世帯の形や社会構造の変化に強く影響を受ける。よっ て、住宅を取り巻く研究対象は、単なる適正家賃分析や物理的な質の 評価だけではなく、人間が生きていくうえで欠かせない育児や介護と いったケア、更には、孤立を抑止する地域とのつながりなど、ソフトサー ビスにまで広がっている。これを具現化する一手法として、住宅とケア の一体的供給の可能性についてシェアハウスなどを対象にその効果の 検証を行っている。





地域政策領域

都市政策に重点を置き、「都市居住」「都市景観」 「災害復興」「都市農村関係」のあり方を問う

コミュニティや空間の視座から実践的な研究を行い、持続可能な都市づくりに貢 献できる人材を育成します。多様性を重視した新しい都市政策を積極的に提言す るため、研究手法においては学際的かつ実践的なアプローチを採用するとともに、 公的機関だけでなく、民間事業者やNPO、地域自治組織との協働や国内外の研究 者との共同セミナーの開催等を進めます。





環境を重視した都市政策のオルタナティブを探る

井上 典子 教授

気候変動や生物多様性保護など、都市が 新しい都市問題に直面する現在、都市政策 のオルタナティブなあり方が模索されるよ うになっている。北イタリアの大都市圏とこ れを構成する自治体を対象に、都市再生、環 境再生、都市と農村とのつながり、中小都市 のネットワーク形成、広域行政化と地域自治 組織などの観点から、都市開発を抑制し都 市環境を重視する大都市圏都市政策のあり 方について検討を行っている。





居住貧困問題を抉る政策を構想する 田中正人 教授・葛西 リサ 教授

日本の都市計画は戦前以来、住宅 政策と切り離され、住宅政策は福祉 政策と徐々に溝を深めてきた。住ま いをめぐる問題の多くは、こうした 政策的分断のもとで放置され、ある いは自己責任の範疇へと回収され てきた。社会格差の拡大と貧困の深 刻化をいかに止めるか。都市・住宅・



観光領域

地域課題解決に資する 観光の新たな価値を探求する

観光の経済効果が注目を集める一方で、オーバーツーリ ズムに伴う地域資源や住民生活の毀損も深刻です。学際 性を強みとする観光学では、「持続性・多様性」の観点から 現代社会と地域が直面する問題解決に迫ります。







創造された地域文化を いかに次世代につなぐのか 吉田 佳世 准教授

祭り・儀礼・舞踊などの地域文化が観光実践 を通じて創造・再創造されることは、もはや前 提となって久しい。では、創造された文化はど こへ向かうのか。観光従事者のみならず女性や 世代差など地域に暮らす人びとの多様性に目 を配りつつ、地域文化が再帰的に継承されて いく過程に注目する。



観光を通じた地域課題の 解決 /緩和を目指して 間中 光 准教授

地域社会が抱える課題に対し観光はどのよ うな貢献ができるのか。ダークツーリズム、ボ ランティアツーリズム、コミュニティ・ベースド・ ツーリズムなど多様化する現代観光の動向を 踏まえつつ、インドネシアの被災地を事例に、 観光と地域社会の関係性について分析してい



地域振興策として 観光産業の可能性 安本宗春准教授

地域振興の方策として観光産業が、どのよ うな関わりや役割があるのか。観光交通や福 祉観光、コンテンツツーリズムなどをテーマと し、観光客の動向や商品・サービスなどの企画 提供などの受け入れ態勢を踏まえ、経済性や 社会性の観点から観光産業について分析して いる。





井上 典子 教授 Dottore di ricerca (Ph.D.) pianificazione territoriale e urbana

専門分野

都市地域計画学、景観保全論

著書に『イタリア現代都市政策論 都市―農村関係の再編』、共書に『イタリア都市再生の質的検証―新しい近接性の形成に向けて』など。日本計画行政学会論文賞(2008)、The European Journal of Creative Practices in Cities and Landscapes(CPCL): peer-reviewed journal published by the University of Bologna and by TU Delft, Scientific Committee



葛西 リサ _{教授、博士(学術)}

専門分野

居住福祉学、住宅政策論

著書に『母子世帯の居住貧困』、『住まい+ケアを考えるーシングルマザーシェアハウスの多様なカタチー』、『13歳から考える住まいの権利・多様な生き方を実現する「家」のはなし』など。

住総研·研究選奨(2016)、都市住宅学会、奨励賞(2009)、論文賞(2019)他受賞。



間中光 准教授、博士(観光学)

専門分野

観光社会学、地域研究

共著書に『アフターコロナの観光学: COVID-19以後の「新しい観光様式」』、論文に「観光のレジリエンスを再考する―自然災害・感染症拡大に対するムラピ山住民の生存戦略を手がかりに」「観光をめぐるブリコラージュ実践とダークネス: インドネシア・ドーム型復興住宅群における観光活動を事例に」など。



高嶺 翔太

専門分野 地域計画、まちづくり

論文に『高経年団地型マンションのコミュニティ活動に対する管理組合の関与の実態』 『「まちの居場所」の集団的孤立に関する研究』など。共著書に『無形学へまちづくりを俯瞰する5つの視座』。活動実績に「大地の芸術祭」(2012年、2015年、2018年)作品出展(共同制作)など。



田中正人 教授、博士(工学)

専門分野

都市計画学、災害復興論

著書に『減災・復興政策と社会的不平等 居住地選択機会の保障に向けて』、共著に 『これからの住まいとまち』、共訳書に『リジ リエント・シティ―現代都市はいかに災害 から回復するのか?』など。住総研・研究選 奨(2013)、復興デザイン会議・最優秀論文 賞(2022)他受賞。



中井 郷之 准教授、博士(商学)

評別野 商学、観光マーケティング

著書に『商店街の観光化プロセス』、共著に『これでわかる! 着地型観光〜地域が主役のツーリズム〜』、『経営の視点から考える「新しい観光学」』、『大阪・北摂のガストロノミーー地域振興のための食資源ー』など。北海道都市地域学会奨励研究、日本観光研究学会第17回学会賞観光著作賞(一般)など。



藤田 武弘 教授、博士(農学)

東門分野

農業経済学、都市農村交流論

著書に『食と農の変貌と食料供給産業(編著)』、『現代の食料・農業・農村を考える(編著)』、『都市と農村(編著)』、『地域産業複合体の形成と展開(編著)』、『ホスピタリティ入門(共著)』など。

日本農業市場学会・奨励賞(1997)、地域農 林経済学会・特別賞(2006)など。



安本 宗春 准教授、博士(生物資源科学)

専門分野 観光学

共著書に『観光と福祉』、『地域創造の国際 戦略地方と海外がつながるレジリエントな 社会の構築』など。

株式会社旅工房、株式会社チックトラベルセンター、東北福祉大学非常勤講師を経て現職。サービス介助士、総合旅行業務取扱管理者。



吉田 佳世 准教授、博士(社会人類学)

専門分野

社会人類学、民俗学

論文に「沖縄社会における祖先祭祀と子育 ての近接性に関する人類学的考察」(『追手 門学院大学地域創造学部紀要』2022)、「沖 縄における嫁と娘:祖先祭祀における女性の 地位の獲得性に着目して」(『文化人類学』 2015)、共著に『応援の人類学』(第3章)、『国 際社会の中の沖縄・奄美』(第4章)他。





お問い合わせ

开究科 〒567-8620 大阪府茨木市太田東芝町1番1号 茨木総持寺キャンパス 追手門学院大学 教務課 現代社会文化研究科地域創造コース担当 https://www.otemon.ac.jp/guide/contact/form.html



() 追手門学院大学 大学院

現代社会文化研究科 現代社会学専攻 地域創造コース